

7月25日(木)

9:00 - 受付開始

10:00-10:05 開会挨拶 第17回腸管出血性大腸菌感染症研究会世話人 秋庭 正人

一般演題 10:05 - 12:05

座長： 楠本 正博 (動物衛生研究所)

1. 10:05-10:20 “*E. coli* O-genotyping PCR”の実用化に向けて
○井口純¹、伊豫田淳²、勢戸和子³、大西真²
¹宮崎大学・IR推進機構、²感染研・細菌第一、³大阪府立公衛研・感染症部
2. 10:20-10:35 3型および5型細胞膨化致死毒素遺伝子の特異的PCRの構築
○日根野谷淳、山崎伸二
大阪府大院・生命環境・獣医国際防疫
3. 10:35-10:50 肉用牛からの腸管出血性大腸菌0157の汚染実態調査及び分離菌株の分子疫学解析
○横田春海、岸野かなえ、鄒碧珍、森哲也、和田真太郎、伊藤武
(一財)東京顕微鏡院
4. 10:50-11:05 *stx1* または *stx1+stx2* 遺伝子を保有する腸管出血性大腸菌0157による集団食中毒事例
○村田敏夫、柳生裕子、三瓶美香、青木敏也
山形県村山保健所 検査課

座長： 小西 典子 (東京都健康安全研究センター)

5. 11:05-11:20 大阪府で分離された0157以外の志賀毒素産生性大腸菌(non-0157 STEC)の特徴-ヒト由来株と食品由来株の比較
○勢戸和子、神吉政史、原田哲也、田口真澄
大阪府公衛研 感染症部 細菌課
6. 11:20-11:35 ウシ由来STECの遺伝学的特徴と系統的關係について
○中村寛海¹、井口純²、藤原淳史³、伊豫田淳⁴、長谷篤¹、小笠原準¹
¹大阪市環科研、²宮崎大 IR、³大阪市食検、⁴感染研細菌第一
7. 11:35-11:50 東京都内でヒトおよび動物から分離された志賀毒素産生性大腸菌O91株の疫学解析
○畠山薫、小西典子、貞升健志、甲斐明美
東京都健康安全研究センター 微生物部

8. 11:50 - 12:05 **EHEC 026 におけるゲノムアダプテーション解析**

○小椋義俊^{1,2}、桂啓介¹、伊藤武彦³、Mainil Jacques⁴、吉野修司⁵、磯部順子⁶
勢戸和子⁷、江藤良樹⁸、黒木真理子⁵、木全恵子⁶、前田詠里子⁸、楠本正博⁹
加藤由起¹⁰、秋庭正人⁹、白髭克彦¹⁰、後藤恭宏²、大岡唯祐²、林哲也^{1,2}
¹宮崎大・フロンティア、²宮崎大・医・微生物、³東工大院・生命理工
⁴リエージュ大・獣医・細菌、⁵宮崎県衛環研・微生物、⁶富山県衛研・細菌
⁷大阪府公衛研・細菌、⁸福岡県保環研・病理細菌、⁹動衛研・細菌寄生虫
¹⁰東大・分生研

休憩 12:05 - 13:00

特別講演 13:00 - 14:00

座長： 山崎 伸二 (大阪府立大学)

「腸管出血性大腸菌感染症 —最近の話題—」

国立感染症研究所 細菌第一部 大西 真 先生

シンポジウム I 「カンピロバクター食中毒とその課題」 14:00 - 15:00

座長： 甲斐 明美 (東京都健康安全研究センター)

「カンピロバクター食中毒の現状」

東京都健康安全研究センター 微生物部 横山 敬子 先生

「*Campylobacter fetus* による新生児髄膜炎」

群馬県立小児医療センター 新生児科 丸山 憲一 先生

休憩 15:00 - 15:10

一般演題 15:10 - 17:10

座長： 小椋 義俊 (宮崎大学)

9. 15:10 - 15:25 **国内 3 地域における腸管出血性大腸菌 0157 株の clade 分布の比較**

○平井晋一郎¹、横山栄二¹、江藤良樹²、瀬戸順次³

¹千葉県衛生研究所、²福岡県保健環境研究所、³山形県衛生研究所

10. 15:25 - 15:40 **福岡県で分離された腸管出血性大腸菌 0157 の clade 解析と志賀毒素産生量の比較**

○江藤良樹¹、市原祥子¹、前田詠里子¹、平井晋一郎²、横山栄二²、世良暢之¹
堀川和美¹

¹福岡県保健環境研究所、²千葉県衛生研究所

11. 15:40 - 15:55 **多変量解析によるヒトまたはウシ由来志賀毒素産生性大腸菌 0157 の遺伝的差異の究明**

○李謙一¹、N. P. French²、工藤由起子^{1,3}、伊豫田淳⁴、小林秀樹⁵、小西良子^{1,3}
局博一¹、熊谷進¹

¹東大院、²Massey Univ.、³国立衛研、⁴感染研、⁵動衛研

12. 15:55-16:10 **腸管出血性大腸菌の高病原性の指標となる病原因子についての解析**
○小林直樹¹、前田詠里子²、河野智美³、青木佳代³、齊藤志保子⁴、古川一郎⁵
江藤良樹²、堀川和美²、小西良子¹、工藤由起子¹
¹国立衛研、²福岡県保環研、³滋賀衛科セ、⁴秋田県健環セ、⁵神奈川県衛研

座長： 日根野谷 淳 (大阪府立大学)

13. 16:10-16:25 **EHEC 0157 の志賀毒素産生に対する IS629 の影響**
○楠本正博¹、小椋義俊^{2,3}、大岡唯祐³、李 謙一¹、岩田剛敏¹、秋庭正人^{1,4}
林 哲也^{2,3}
¹動衛研・細菌寄生虫、²宮崎大・フロンティア、³宮崎大・医・感染症、
⁴大阪府大院・生命環境
14. 16:25-16:40 **ESBL 産生大腸菌 O25:H4 への EAEC 病原遺伝子の水平伝播**
○藺牟田直子、吉家清貴、西順一郎
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 微生物学分野
15. 16:40-16:55 **新興病原体 *Escherichia albertii* のゲノム及びゲノム比較解析**
○大岡唯祐¹、勢戸和子²、河野喜美子³、小林秀樹⁴、井口純⁵、瀬戸順次⁶
山口敬治⁷、古川真斗⁸、徳岡英亮⁸、原田誠也⁸、小野英俊⁹、吉野修司³
Lothar Beutin¹⁰、西順一郎¹¹、伊藤武彦¹²、桂啓介¹³、後藤 恭宏¹、小椋義俊^{1,13}
林哲也^{1,13}
¹宮崎大・医、²大阪府公衛研、³宮崎県衛環研、⁴動衛研、⁵宮崎大・IR
⁶山形県衛研、⁷北海道衛研、⁸熊本県保環研、⁹都城食衛研、¹⁰ BfR (ドイツ)
¹¹鹿児島大・医、¹²東工大院・生命理工、¹³宮崎大・フロンティア
16. 16:55-17:10 ***Citrobacter rodentium* 感染マウスにおける腸管粘膜免疫の検討**
○所俊志、飯田健人、葛西康平、杉山剛志
岐阜薬大 生命薬学 感染制御学

7月26日(金)

9:30-10:00 腸管出血性大腸菌感染症研究会総会および奨励賞表彰式

一般演題 10:00 - 11:30

座長： 岡村 雅史 (北里大学)

17. 10:00-10:15 **肉用牛からのカンピロバクター汚染実態調査および分離菌株の遺伝子型別解析**
○和田真太郎、森哲也、岸野かなえ、横田春海、鄒碧珍、伊藤武
(一財) 東京顕微鏡院
18. 10:15-10:30 **市販生食用鶏肉のアルコバクターおよびカンピロバクター汚染**
○麻生嶋七美¹、松田正法¹、重村久美子¹、本田己喜子¹、吉田英弘¹、樋脇弘²
¹福岡市保健環境研究所、²福岡市動物園
19. 10:30-10:45 **漁港海水および市販鮮魚における *Campylobacter lari* の汚染実態調査**
○磯部順子¹、嶋智子²、金谷潤一¹、木全恵子¹、清水美和子¹、増田千恵子¹
綿引正則¹、佐多徹太郎¹
¹富山衛研、²富山県厚生部くすり政策課
20. 10:45-11:00 **アルコバクターのヒト下痢症検体からの検出**
○成松浩志、佐々木麻里、緒方喜久代
大分県衛生環境研究センター 微生物担当

座長： 岩田 剛敏 (動物衛生研究所)

21. 11:00-11:15 ***Campylobacter jejuni* による下痢発症機構の検討**
○畑山翔、下畑隆明、根来幸恵、松本麻里、佐藤優里、栗飯原睦美、
上番増喬、馬渡一論、高橋章
徳大院・ヘルスバイオサイエンス・予防環境栄養
22. 11:15-11:30 ***Campylobacter jejuni* 感染はCFTR機能を抑制する**
○根来幸恵、下畑隆明、畑山翔、松本麻里、佐藤優里、栗飯原睦美、
上番増喬、馬渡一論、高橋章
徳島大院 ヘルスバイオサイエンス 予防環境栄養

休憩 11:30 - 12:30

12:30 - 13:00 **日本カンピロバクター研究会総会**

シンポジウムⅡ 「Farm to Table —国内の現状—」 13:00 - 15:00

座長： 秋庭 正人 (動物衛生研究所)

「畜産農場における STEC 0157 及びカンピロバクターの保有状況」
農林水産省消費・安全局 消費・安全政策課 佐々木 貴正 先生

「農場段階における HACCP の取組」
農林水産省消費・安全局 動物衛生課 星野 和久 先生

「食用動物由来細菌の薬剤耐性モニタリング—JVARM—」
農林水産省動物医薬品検査所 検査第二部 川西 路子 先生

「牛肝臓の基準 ～生食用としての販売・提供を禁止～」
厚生労働省医薬品食品局 食品安全部 仲川 玲 先生

15:00-15:05 閉会挨拶 第6回日本カンピロバクター研究会世話人 甲斐 明美